

はばプラ推進のための研究計画及び報告書

学校名 太田市立太田小学校

「学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」28.12中教審答申→学習指導要領29.3告示

研究目標（達成水準）：全ての教員がはばプラに基づく授業ができるようになる

I 学校の現状について

- 教師主導型の授業を行う教員が多い。
- 標準学力調査は、全学年全国平均を上回っているが、文章を読み取ったり、説明したりする問題が苦手である。
- 全国学テの児童質問紙調査では、国語や算数への関心等が全国平均よりやや低い。

II 課題とその原因の分析について

- はばプラの授業の仕方やよさが分からない。
- 児童に書かせる時間は設定しているが、説明をさせる機会が少ない。
- 教師主導の授業のため、成就感や達成感を味わうことが少ない。

III 課題解決のための具体的な取組及び年間計画（別紙）

*研究仮説・・・次のような取組を進めれば、全ての先生がはばプラに基づく授業ができるようになるだろう

- 1 年度当初に、はばプラ特配が全ての教員の授業参観を行い、実態や課題を把握することにより、1年間の個々に応じた指導方針を立てる。
- 2 はばプラ特配と担任とでTTを組み、授業を実施することで、授業の仕方を理解したり、よさを感じたりできるようにする。必要に応じてT1とT2を交替したり、同学年の他の教員が参観したりする。
- 3 はばプラ特配から指導を受ける時間を設定する。（全教員に関する課題は全体研修会、学年に関する課題は学年会）

検証方法：目標が達成できたかどうかの検証方法を書く。
できるだけ客観性のあるものが考えられるとよい。

- ・自己申告書に「はばプラによる授業づくり」についての目標を設定し、実践する。（B以上の評価）
- ・学期に一度、はばプラ特配と管理職で評価を行う。（B以上の評価）

実践

IV 成果と課題

1 目標の達成状況

- ◎全教職員（音楽専科、特支担任を除く）による公開授業を実施したことで、一人一人の指導力を向上させることができた。
- 授業に向かう児童の表情が生き生きとなり、主体的に学んでいる様子が多く見られようになった。
- 若手や中堅教諭の指導技術が大きく向上した。ベテラン教諭は、長年培った指導技術があり、なかなか受け入れられなかったり、指導が滞ると元の指導に戻ったりしてしまった者もいた。

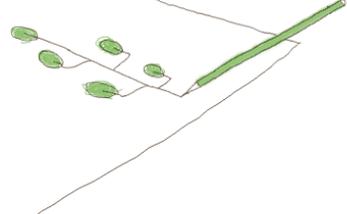
2 次年度の取組

- 今年度、はばプラ特配から指導されたことをもとに、各自実践を行い、改善を加えていく。
- 交流活動や全員参加型の授業など、他の教科にも広げていく。
（来年度の校内研修において、主体的・対話的で深い学びを促す授業改善として国語を中心に取組んでいくことも考えている。）

はばたく群馬の指導プラン推進校 公開授業研修会



平成30年1月30日(火)
太田市立太田小学校



新学習指導要領より
主体的・対話的な深い学び

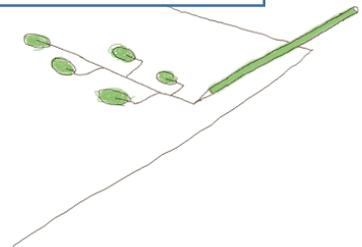


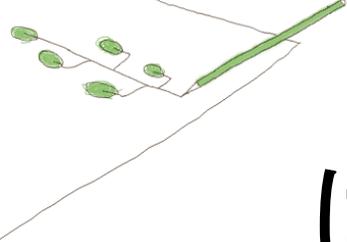
群馬県学校教育指針より(H29)

知識・技能を活用する力を伸ばすための取組の充実



はばたく群馬の指導プランおよび実践の手引きより
知識・技能を活用し課題解決を図る力の育成





はばプラに基づいた授業

➡ 主体的・対話的で深い学び

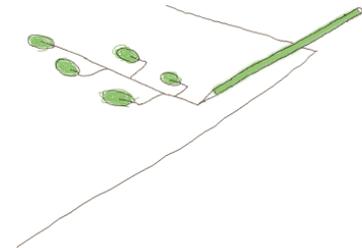
解決へ向けてのヒントの提供

授業ってどう組み立てればいいのか？

主体的・対話的で深い学び？

組織的に研修を、

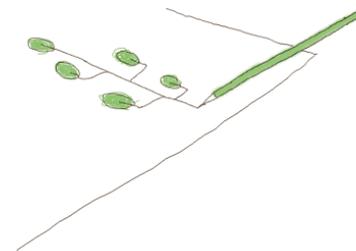
なんて言われても時間が・・・。

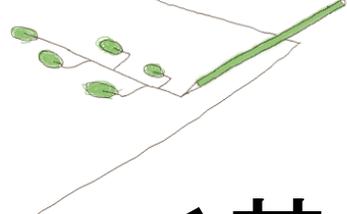




<勤務形態・勤務内容>

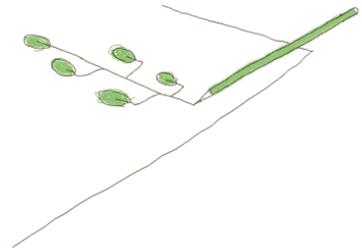
- 再任用教員(週:19時間22分30秒勤務)
 - 国語担当教諭
火～木曜:午前中半日、金曜:1日
 - 算数担当教諭
月～水曜:午前中半日、木曜:1日
- 授業参観・指導助言・示範授業・
TT授業・教材研究





<基本的な考え>

- ・校内研修(道徳)と並行して取り組む。
- ・各学年で、国語も算数も授業改善に取り組む。
- ・学年代表ではなく、全員が公開授業を行う。
- ・公開授業(1月30日)の教科は、本人の希望を優先し、学年で偏りがないようにする。
- ・全学級に、国語も算数も指導に入る。

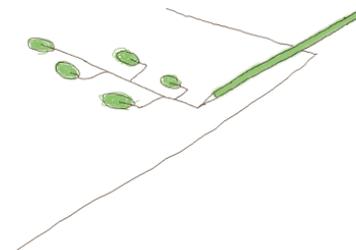




太田小教員構成(公開授業者のみ)

	男10人	女10人
20代	4人	1人
30代	3人	1人
40代	1人	1人
50代	2人	7人

- ・ 1年～6年 すべて3学級
- ・ 4年の算数は、理科専科が入り、学年を4つに分けて少人数
- ・ 5年の算数は、学力向上特配が入り、各学級を2つに分けて少人数



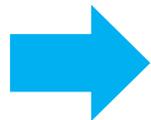


<教師の様子>

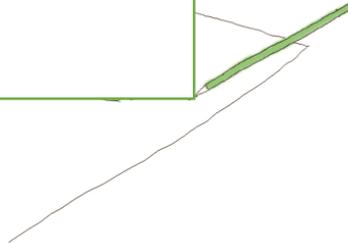
- 教師主導型が多い
- 指導力の差が大きい
- まじめ、協力的

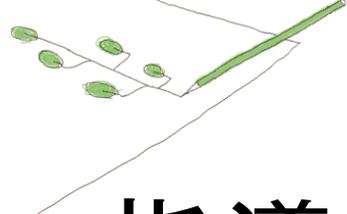
<児童の様子>

- 素直で明るい
- 発表する児童は固定
- 受動的
- 配慮の必要な児童が各学級に見られる
- 学年差(学力面・情緒面)
- 読書量が多い



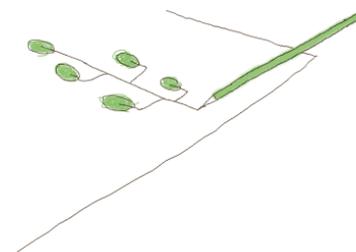
職員の授業力を高めること
それが、児童の学力を高めることになる。





指導經過

- 4月10日(月) 校内研修全体会 ①
- 8月10日(木) 校内研修全体会 ②
- 10月25日(水) 校内研修全体会 ③
- 1月 9日(火) 指導案検討(教科別)
- 1月15日(月) 指導案検討(教科別)
- 1月30日(火) 公開授業



校内研修全体会 ① 4月10日

はばプラの授業って？

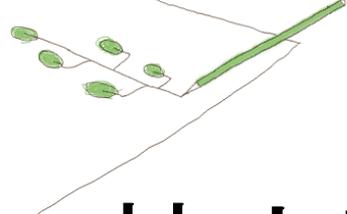
- ・はばプラを詳しく読んでいない。
- ・内容は理解できるが、具体的にイメージをもてない。
- ・交流の仕方、全員参加の授業イメージが分からない。

全員参加の時間を増やす。テンポよく。

つまり、授業に巻き込む、授業中に遊ばせない、暇な時間を作らない。そんな手立ては？

疲れた。もう終わったの。もっとやりたい。

すごいね。おもしろかった。楽しかった。

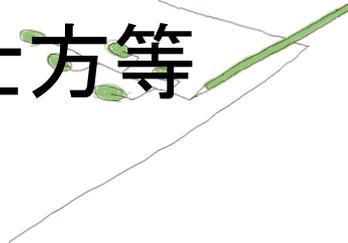


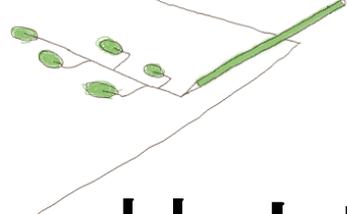
校内研修全体会 ② 8月10日

<国語>

- ・フレームリーディング
- ・単元計画の作り方
- ・指導の流れ

<算数>

- ・対話のある授業のイメージづくり
 - ・模擬授業(先生方を対象に、4年の教材)
 - ・交流の取り方、指名の仕方、発表の仕方等
- 



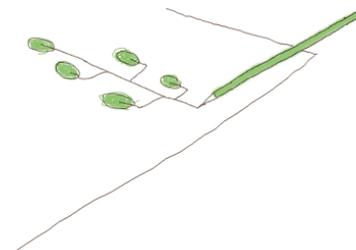
校内研修全体会 ③ 10月25日

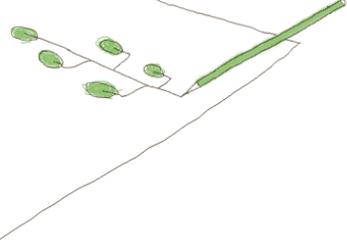
<国語>

- ・フレームリーディング
- ・指導の流れ
- ・交流の仕方

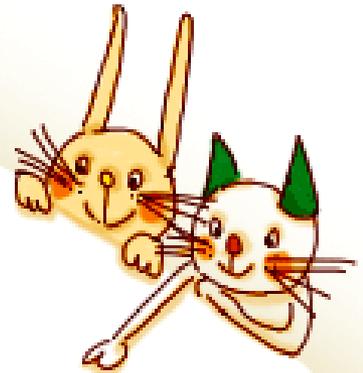
<算数>

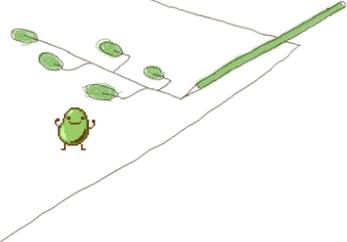
- ・自己決定
- ・交流の取り入れ方
- ・説明の仕方(事実・根拠・結論)





授業参観した感想をペアで伝え合いましょう。

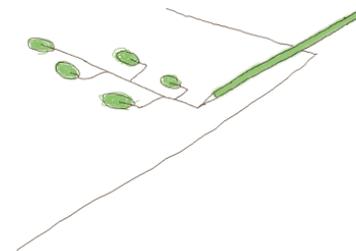


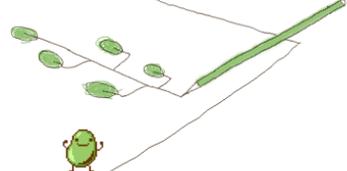


国語の取組について

授業時数(35週)

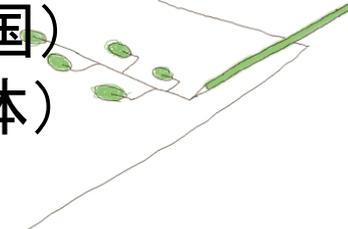
1年	9×35	315時間
2年	9×35	315時間
3年	7×35	245時間
4年	7×35	245時間
5年	5×35	175時間
6年	5×35	175時間
合計		1470時間

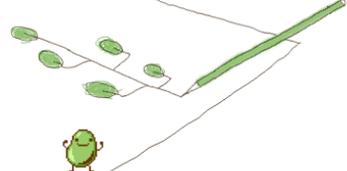




国語 指導経過 ①

参観をしてつかんだ実態(教師) ・・・困っていること

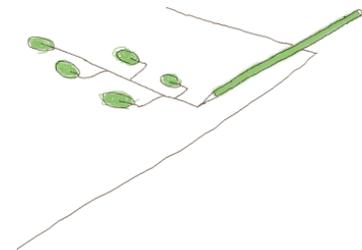
- ・国語の授業は苦手である。 (興味関心)
 - ・表現が残らないので、できるようになったことがつかみ
ずらい。 (話す・聞く)
 - ・支援がむずかしい。 (書く)
 - ・授業の組み立てがよくわからない (読む)
 - ・自信をもって指導にあたれる。 (伝国)
 - * ワークシートを使った授業が多くみられる。(全体)
- 

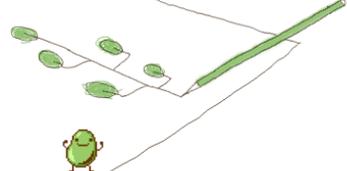


国語 指導経過 ②

参観をしてつかんだ実態(児童)

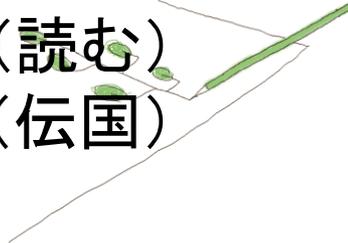
- ・国語の授業は好きでも嫌いでもない。 (興味関心)
- ・皆の前で発表するのは、恥ずかしい。 (話す・聞く)
- ・作文はめんどくさい。 (書く)
- ・授業に混ざっていない。 (読む)
- ・集中して学習に臨める。 (伝国)
- * 交流に抵抗がある。
- * 授業にかかわっていない児童が見られる。

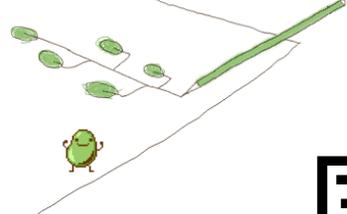




国語 指導経過 ③

実態をもとに、支援したこと

- ・教科書の学習の進め方をもとに授業を行う。
少人数の交流を積極的に取り入れる。
聞くことが学習の重要事項であることを教師が意識する。
(話す・聞く)
 - ・主語を明確にする。書き出しの主語を決める。(書く)
 - ・1単元の全時間の指導案を提供する。
フレームリーディングを紹介する。
イメージマップの活用をする。
(読む)
 - ・今までの指導の継続をする。
(伝国)
- 

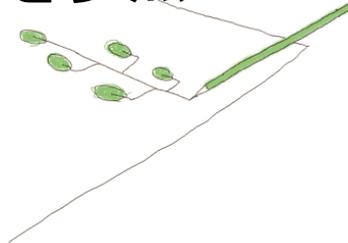


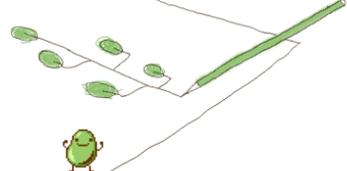
国語 指導経過 ④

一番力を入れたこと

- ・1単元の全時間の指導案を提供をする。
フレームリーディングを紹介する。(資料添付)
イメージマップを活用する。(読む)
- ・読むことの単元の授業構成ができるようになれば、他の領域の課題も一緒に改善できると考えたから。

※ 具体的な指導案については、展示してあるものを参照

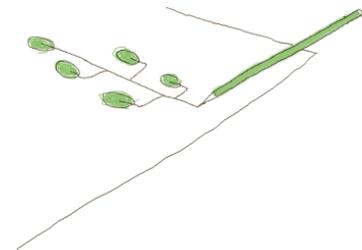




国語 指導経過 ⑤

変容

- ・国語の授業への抵抗がなくなってきた。 (興味関心)
- ・聞くことへの指導が徹底されてきている。 (話す・聞く)
- ・条件をつけた指導を行うようになった。 (書く)
- ・フレームリーディングの考えで授業を組み立てられるようになった。 (読む)
- ・自信をもって指導にあたれる。 (伝国)
- * ワークシートを使った授業の激減した。 (全体)
- * 交流が活発に取り入れられるようになった。





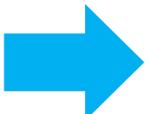
算数の取組について

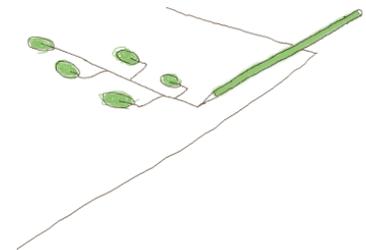
1時間の学習過程に沿って説明

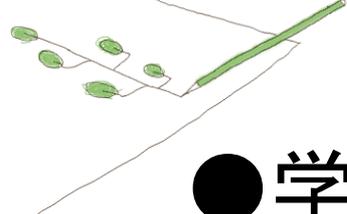
「はばプラ実践編」P34～35を参照

目指したいこと

→ ……4月当初の実態

 ……指導の手立て



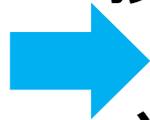


●学期ごとの指導時間の確認
毎日授業しても時間が足りない。

①授業が始まる前に
黒板・ノートなどの準備

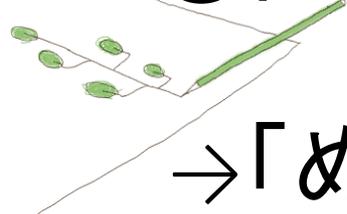
②始業のチャイムで始まる。

→チャイムで始まらない。
挨拶に時間がかかる。



学習規律の確立
例 3秒ルール

些細なこと
でもほめる。
繰り返す。
学習訓練

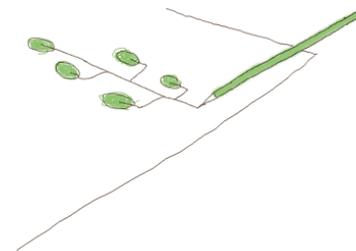


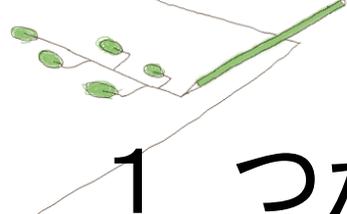
→「めあて」を書き、教科書の問題を読む。

問題を書くのに時間がかかる。

教科書は使わずに
問題教師が言いながら書く。すぐ
に、
机間指導し、教師と同時に書き終える。

教科書は使わないの？

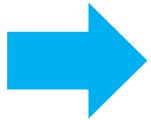




1 つかむ

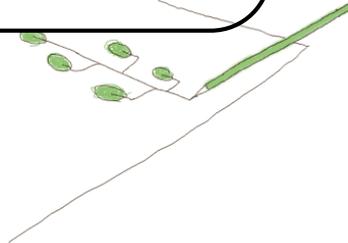
④ 「めあて」を児童とともに考える。

→教師が、「めあて」を決めて書く。



- 前時の学習、既習事項から類似点や相違点を見つけ児童とともにつくる。
- 見通しをもたせる。
- 結果の予想をする。

自己決定
困っている人？
ヒントは？

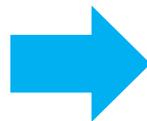


2 自力解決・・・短時間で

⑤見通しをもって取り組む

すぐに答えを言いたがる。できました。終わりました。

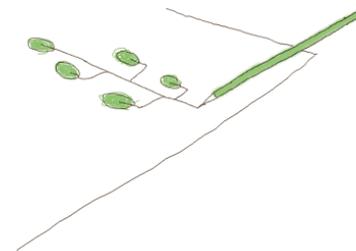
→ 手つかずの児童に個別支援。
時間をかけて考えをもたせる。
時間をもてあましている児童が多い。

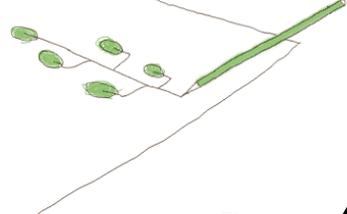


式・図・言葉をセットで考えさせる。
ノートを見る、ヒントをもらう。
指名計画を立てる。



短時間でいいの？



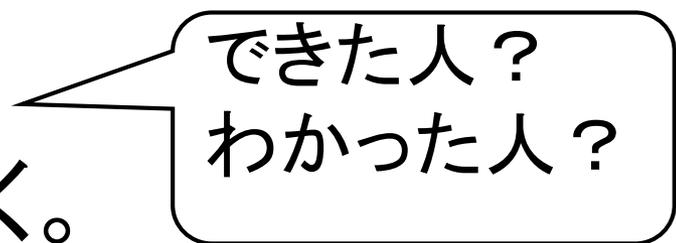


3 集団解決・・・時間の確保

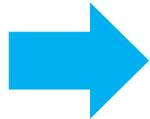
⑥複数の考えを発表する。

→ 教師

- ・正解に飛びつく。
- ・先生が補足説明する。

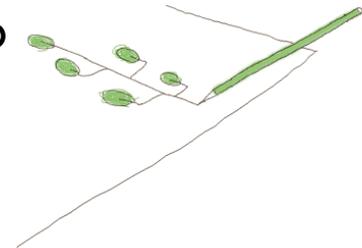


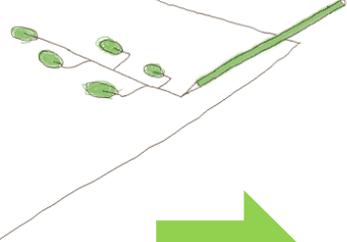
できた人？
わかった人？



先生はつなぎ役

- ・正解に飛びつかない
「えっ？ほんと？絶対？」
「だって、・・・」を引き出す。
- ・児童に説明させる。





交流は、集団解決の場面ですか？

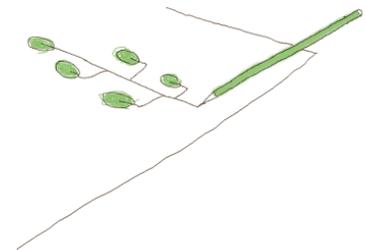
どの場面でも、いつでも、発問したら、

- ・正解に飛びつかない
- ・教師がしゃべりすぎない。



自己決定も取り入れたい。

- ・AかB、わからないなど3択で
- ・ハンドサイン
- ・分かったら座る。

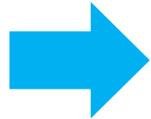


3 集団解決・・・時間を確保

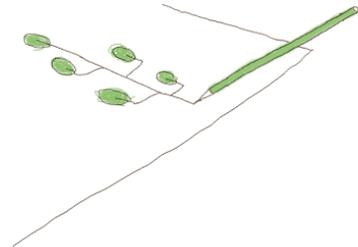
⑥複数の考えを発表する。

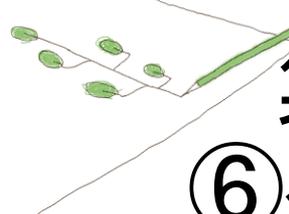
→ 児童(よく発表する児童)

- ・2～3人が発表(固定化)
- ・自分の書いたものを本人が説明
- ・自分の席で発表



- ・同じ考えでも**複数の児童**が説明
- ・図や式のみを板書して、考え方を**推測**
- ・言葉で説明させ、式や図を**推測**
- ・図や式、考え方の一部を掲示して続きを**推測**



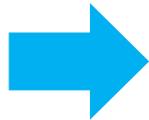


集団解決・・・時間の確保

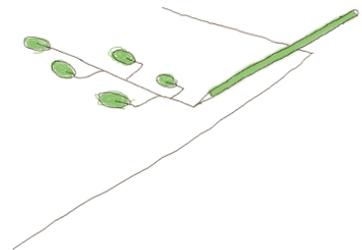
⑥複数の考えを発表する。

→ 児童（あまり発表しない児童）

- ・聞いていない。
- ・黒板の考えを写す。
- ・発表になれていない。
- ・言い方が分からない。



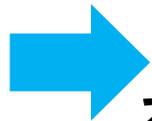
- ・**ペア**で説明し合う。
- ・途中で**区切って**確認する。
- ・**うなづき**ながら聞く。
- ・説明の**例**を示し、練習させる。
- ・**算数用語**を使う。



3 集団解決・・・時間の確保

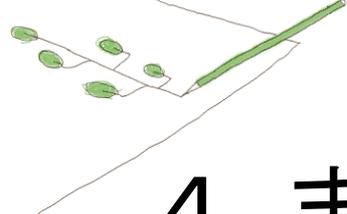
⑦それぞれの考えを視点を持って比較・検討する。

→ 時間がなくなって、先生が結論を言う。



それぞれの考えの似ているところ、
違うところを見つけ、よさに気づかせる。

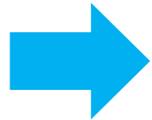
- ◆ 序列化型・・・簡潔性、明瞭性、正確性
- ◆ 一般化型・・・相違点や共通点に着目
- ◆ 独立型・・・それぞれの考え方の良さ
「はばプラ実践編」P39参照



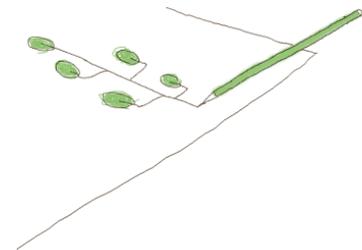
4 まとめ

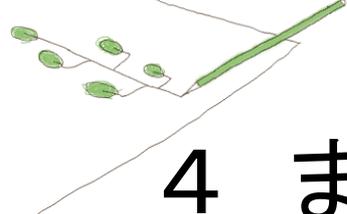
⑧本時の学習の大事なことを**児童と相談**してまとめをする。

→ 教師がまとめを書き、児童が写す。



- ・児童の発表、比較・検討してでてきた**キーワード**を板書にしておき、児童が**自ら気づける**ようにする。
- ・まとめを書いて覚える。

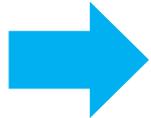




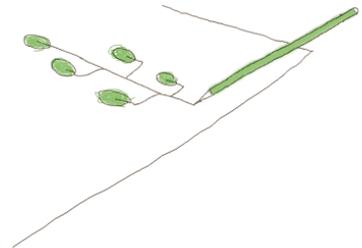
4 まとめ

⑨適応問題に取り組む。

→ 時間が足りなくてできない。
次時におこなう。



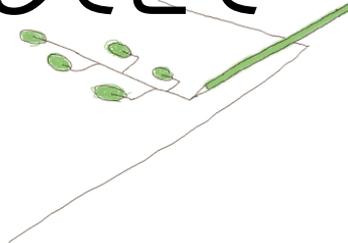
- 本時の学習内容の理解を確認する。
- ○を付けて間違いをその場でやり直しをさせる。
- 間違いの多い場合は全体に説明する。

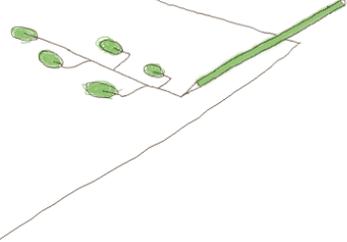




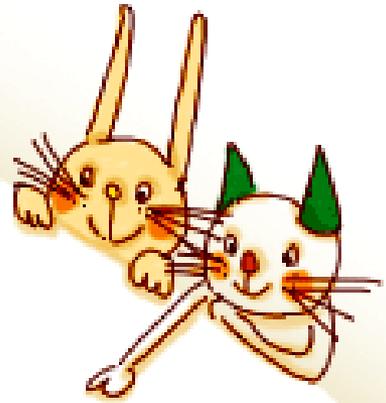
2学期の指導について（アンケートより）

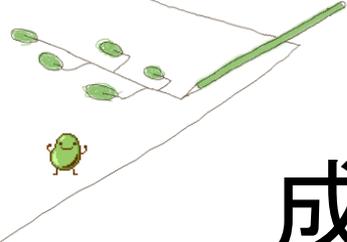
友達と同じ考えであっても、同じ言葉の繰り返し返しであっても、多くの子に声を出して考えを発言させる、言わせることは、**自発的**に考えさせる手立てとして有効だと感じ、授業に取り入れられるようになった。また、隣同士、前後、グループで自分の考えを言い合ったり、友達のノートを見合うことも**主体的**な学習、最後まで飽きさせずに集中して学習に臨ませる手段としてとても参考になった。





今の感想をペアで伝え合いましょう。



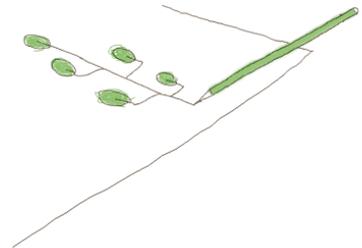


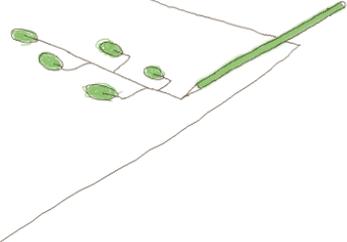
成果と課題

- ・めあてと振り返り
- ・児童のよさがみえる(賞賛)
- ・全員を巻き込んだ授業
- ・交流の効果を理解
- ・学習規律の確立



*** 授業力の向上**

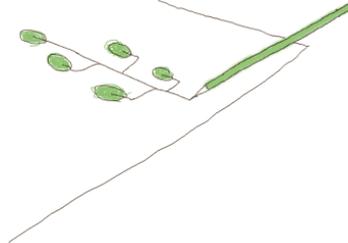


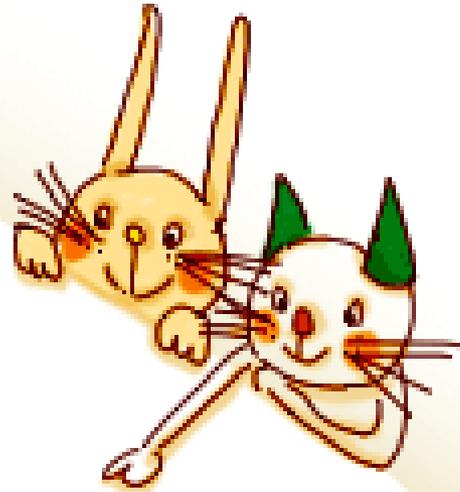


終わりに

- 
- 1 繰り返す。
 - 2 交流を取り入れる。
 - 3 正解に飛びつかない。
 - 4 教科書を使いこなす。
 - 5 児童の変容を喜ぶ。

※ 通読する。(国語)





授業改善のヒントを提供できましたでしょうか。

ご静聴ありがとうございました。